私の探鳥地（３４）（野鳥だより 114 号 1999 年 12 月）

冬の石狩湾新港

樋 口　陽 子

石狩湾新港は冬の探鳥地です。11 月初旬ぐらいから翌年の 4 月初旬ぐらいまで、各種カイツブリ類や海ガモ類を楽しむことができます。カイツブリ類では、ハジロカイツブリが安定して見られ、ミミカイツブリやカンムリカイツブリも良く見られます。アカエリカイツブリは運が良ければというところです。海ガモ類で最も多いのはウミアイサで、ホオジロガモ、スズガモもかなりいます。シノリガモは少数ですが安定して見られ、またコオリガモも時々見られます。沖合にたくさん見られるクロガモもよく港内に入ってきますし、時にはビロードキンクロも入ってきます。

石狩湾新港の簡単な地図とポイント（A、F）を載せましたが、お手持ちの市販の地図と合わせてご覧下さい。なお、公共の交通はありませんから、自家用車などが必要になります。

石狩湾新港

A～C : A は樽川埠頭で、ここに車を止めることができます。B、C へは図の点線のように海に沿って徒歩となりますが、余程の雪でない限りは長靴で大丈夫です。B 地点にはモニュメントのような物が建っています。C 地点からは新川方面の外海も見えますが、見られるものは港内とほとんど変わりありません。A から C まで歩くだけですと 20 分程度ですから、たいした距離ではありません。

D : B 地点の向かい側です。見られる鳥は B 地点からのものと同じですが、鳥の位置によっては、こちらからの方が近くで見られます。

E : 茨戸川と放水路でつながっているところです。湾の中の湾になっているようなこの場所も、覗いてみたいところの一つです。

F : 東埠頭です。先端の方をぐるっと回ることもできますが、短い方の防潮堤の上のウミウやカモメ類を見るのがメインになります。

A、F のうち、おすすめは A、C の徒歩コースです。いつもは往復 2 時間ほどかけてゆっくりと見て歩いています。海の鳥ばかりではなく、B 地点では昨冬にユキホオジロに出会ったこともありました。すぐ頭の上をオジロワシが飛んでいくこともあります。

石狩湾新港は有数の釣り名所で、休日には釣り人でいっぱいになりますが、探鳥にはほとんど影響はありません。むしろ、そんなことで鳥たちが人慣れ（？）しているのでしょうか、ハジロカイツブリやシノリガモなどは随分と近くで見られます。

気を付けなければならないのは天候です。吹雪にでもなったら全く探鳥になりません。それまでいい天気だったのに突然吹雪になることも珍しくありません。晴れの時でも寒さはかなりのものです。熱い飲み物を用意し、寒さ対策の重装備でお出かけになることをおすすめします。